

第66回全国高校スケート・アイスホッケー競技選手権は第2日の20日、栃木県で3競技を行った。県勢はスピード男子5000メートル男子5000メートルで山本大史(八戸西)が大書の悪天候の中、力強い滑りで2位に輝き、同大会3年連続で表彰台に上った。同種目では毛利信太郎(同)も6位入賞。同5000メートル以下は下館信司(同)の16位が最高だった。女子5000メートルは2選手が出場したが、いずれも30位までが通過する2

# 全国高校スケート

第2日

本日に進めなかった。アイスホッケーは1回戦10試合を行い、八戸商が清水(北海道)に2-1、八戸工が武相(神奈川県)に1-0、八戸が北海(北海道)に0-16で敗れ、いずれも2年連続で初戦敗退した。第3日の21日は、スピードは男女1000メートルと女子3000メートルを行い、県勢は10選手が出場。アイスホッケーは2回戦8試合を行い、八工大一が武相と対戦する。

(本田俊博、公田孝志)

# 山本(八西)2位

男子 5000メートル

## 毛利(八西)自己新で6位

### スピード

▽日光霧ヶ峰スケートセンター  
 ①男子5000メートル ①石川斗来  
 北海道・白樺学園 1分13秒10  
 1回目36秒67、2回目36秒43  
 ②久保(北海道・白樺学園) 1分13秒18(36秒65、36秒53) ③藤原(北海道・菅広南商) 1分15秒00  
 37秒61、37秒39 ④下館信司(八戸西) 1分18秒14 1回目39秒30

④林莉輝 2回目38秒84 ⑤清川一樹(八戸西) 1分18秒40 39秒34 39秒06、松本昌平(八学光星) 2回目に進まず、畑真輔(八学光星) 2回目に進まず  
 ①男子5000メートル ①林莉輝 2回目38秒84 ②毛利信太郎(八戸西) 7分41秒97 ③山本大史(八戸西) 7分41秒97 ④長野・佐久長野 7分41秒97 ⑤原田(長野・諏訪) 7分41秒97 ⑥毛利信太郎(八戸西) 7分41秒97 ⑦村崎大(八学光星) 7分32秒08 ⑧渡辺大樹(八学光星) 8分0秒25 ⑨竹中誠也(八戸商) 8分0秒25

▽女子5000メートル ①桐くさみ 北海道・菅広三冬 1分21秒92 1回目40秒95、2回目40秒97 ②熊谷(管・盛岡工) 1分22秒

▽男子5000メートル ①林莉輝 2回目38秒84 ②毛利信太郎(八戸西) 7分41秒97 ③山本大史(八戸西) 7分41秒97 ④長野・佐久長野 7分41秒97 ⑤原田(長野・諏訪) 7分41秒97 ⑥毛利信太郎(八戸西) 7分41秒97 ⑦村崎大(八学光星) 7分32秒08 ⑧渡辺大樹(八学光星) 8分0秒25 ⑨竹中誠也(八戸商) 8分0秒25

34 41秒08、41秒26 ③佐見北海 海道・菅広三冬 1分21秒11(41秒53、41秒58、加賀のかり(八戸西) 2回目に進まず、岡野有希(久井農) 2回目に進まず

に乗り、大きくタイムを落とすことなく同走の相手を引き離してゴールした。天気が崩れる前の滑走順だったこともレースに有利に働き、後半(の選手は)は雪が強くなり、平等ではなかった。天気がおかげと入賞にも控えめな表情だった。

毛利、22位から急上昇  
 ○：スピード男子5000メートルでは、毛利信太郎(八戸西)が2年生ながら6位入賞。屋外レースでの自己ベストを約2秒更新する滑りで、昨年の22位から大きく順位を上げた。「自分の滑りをするだけ」と序盤からスピード